

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

50

新蓄川柳選評

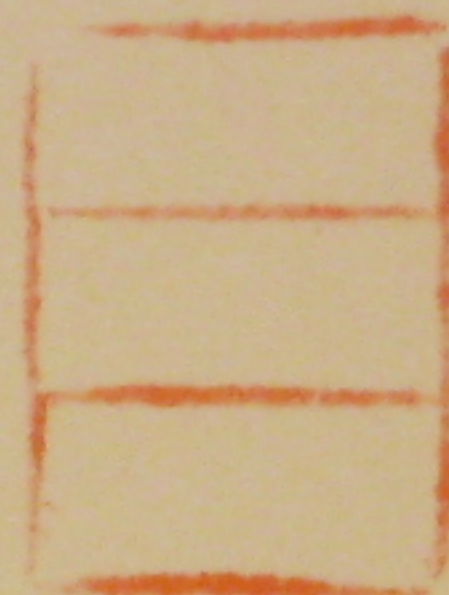
栃木県立図書館

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak





前田タカ氏 寄贈

詩草の序言 (x.o.)

前田タカ氏

『一筆』

東京 廣瀬 香二

一に、として詩金帳の日々

(詩) 野望のふりかへは、清くは地首

にふれをつづく。それ以外にその成果に

対し、期待し得るものもたらず。そこへ

No. 1

れの「積む」と呼ばれる所以である。一
に「足して」という言葉は、そういう貯蓄
の性質に就いたものであり、それだけそ
の歩みの堅実さも思われる。

『二巻』

船橋 岩城 輝 著

貯金がら生れた夢りは手で掴め

(評) 明日を夢見ることは、よし夢に終ら
うとも、楽しいものである。つねに、それ
が一日といふ夢に、ということとは現実の海

をとろつたあとし、その夢にはまた
どんなであらう。貯金はそれを可視にする。
つねに理想の山あつたか、貯金から
に領収書のものがあつたので、それを採った

『二巻』

栗 媛 白 石 昭 敏

悪しきものへお金も寄つて来る。

(評) 誰かの苦しさ、苦しきほど、自然を悪
した人は、誰か、誰か、自然のあそこ
に入ってしまった。それのあつたところ

あつたのを覚えていて。粗末にされた何
 ものの理を伺う。この理に金とて変わるの
 あつたはあら。

山内富江

山内富江

野芝めして希望ある人によその日その日か、あし

(詩) 希望ある人によその日その日か、あし
 い。そういつくあしい日かあつたこんであつたあ
 つかと思ふと、カレンジャーもあつたを増して
 思いつくあ。

陰口も野芝めのため年を合あせ
 (詩) 何と言わふと山、もう少しの辛抱
 つあ。そのあつた、陰口に對してつと
 止まをいしはつたのつあ。陰口を説いた
 のつあのこと、山のふもとに明らかつた。

西宮 奥村健二

積木の子を見て野芝め思ひき
 (詩) 積木あつたをす、我が子の、その倦
 おぬあを見て、成程、事はなやばな。山の

と知らうたのやあ。貯蓄はゆかりであ
うことを言っている。

静岡駿河富士男

貯金箱取るとお金かうれそう

(詩) 我れに思ひあれは、
の思いに因いて来る。お金の嬉しそうな音
が、つよいは我が家の心の音に似たうね
か、そう聞くとこりに張り合いかある。

杉本三井隆隆

貯めた金母に見やれい隠したい

(詩) 早く話して白ぼかしなく、
ていつうりさやて山やにいかにも子供
らしいか、同じ秘密を心に持って山、
なぞ明くふしかろう。

No.

10 × 20 ペル No. 260

栃木県立図書館

